

2025年度自己点検・自己評価報告書

実施日：2026年2月27日 学校名：聖ヶ丘保育専門学校
(自己点検・評価モデル 2022モデルVer.2.0_C使用)

1. 学校の教育目標

本校の前身は、1935年(昭和10年)に横浜東本願寺境内に県下唯一の優れた知徳を備えた保母を養成する場として創設された「横浜聖徳保母養成所」である。本校は、創立者である鹿野久恒師が掲げた子どもと保育する者を称え、幼児教育の重要性等を訴えた理念である「国を動かす者は、揺り籠の中に在り」「揺り籠を動かす者は、世界を動かす」を建学の精神として引き継ぎ、女性の幼稚園教諭及び保育士の養成に当たり、校訓に「つよく やさしく 美しく」を掲げて「知・徳・真・善・美」の備わった人間性豊かな社会人の育成を目指している。校訓の「つよく」は、使命感・責任感、「やさしく」は、共感・思いやり、「美しく」は、正しいもの・美しいものを愛する感性を表している。

本校は、学校教育法及び児童福祉法の規定に基づき、幼児教育の正しい理論と技術を習得させ、有為な幼稚園教諭及び保育士に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。(聖ヶ丘保育専門学校学則第1条)

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 男女共学化に伴う各部署各委員会がまとめた方策の遂行。
特に授業及び実習関連、学生指導関連、就職関連、施設設備環境関連を軸に進行し、各関係者へ決定事項の周知徹底を図る。
- (2) 教職員及び学生から見た本校の価値、魅力、期待するものをヒアリング調査検証し、「学生、保証人、地域から選ばれる学校作り」を目指す。価値の指標として、組織(連携強化とモチベーションマネジメント)・教育(質の保証)・経営(データを基に様々な課題解決)・募集(教育方針、カリキュラムの独自性のアピール)等を軸に取り組む。
- (3) 全学科に於いてAO入試の導入結果を踏まえ、更なる入試・広報の内容強化を図ると共に定員充足率70%以上を目指し、高等教育の修学支援新制度の認定校としての要件を満たすため教職員が一丸となって広報活動に勤しむ。
- (4) 学生情報管理システム(info Clipper)の活用。授業の出欠管理並びに各担任、各部署及び各委員会に於いて得た学生の情報等を全ての教職員で共有する。個人面談及びホームルームにて担任指導の徹底を図り、中途退学者及び除籍者の減少へ向け、各教職員が連携し具体的な施策を図る。全学科に於いて中退率を5%以下に抑える。
- (5) 本校独自の特色、優位性を追求し、幼稚園教員免許状及び保育士資格、それ以外の付加価値の導入を図る。保育現場で役立つ各種資格の取得のための講座を開設する。また、地域発展に寄与すべく、卒業生や一般を対象としたリカレント教育の拡充を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例			
1	1	中項目	理念・目的・育人人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育人人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)						
1	1	1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	4	3	2	1	学生のしおり(本校プロフィール・学則・修学規程)、HP、学校案内、校内に校訓を掲げている
1	1	2	学生・保証人に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(本校プロフィール・学則・修学規程)、HP、学校案内
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	3	2	1	学生のしおり(本校プロフィール・学則・修学規程)、2024年度学校運営方針及び事業計画、職員会議議事録、HP、学校案内
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	3	2	1	年報、HP、学校案内
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)						
1	2	1	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	3	2	1	学生のしおり(本校プロフィール・学則・修学規程)、HP、学校案内、履修カルテ、授業計画(シラバス)
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	3	2	1	文部科学省実地視察資料、学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録、全国保育士養成協議会会報、理事会議事録、全国幼稚園教員養成機関連合会総会資料、神奈川県保育士養成施設協会研修会
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(本校プロフィール・学則・修学規程)、学校案内、HP、2024年度学校運営方針及び事業計画
1	2	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	C	4	3	2	1	文部科学省実地視察資料、学生のしおり、履修カルテ、授業計画(シラバス)、HP

① 課題

・学校の将来構想を描くために、引き続き国や県等の自治体の各関係団体が主催する研修会・研究発表・意見交換会等に積極的に参加し、業界の動向やニーズを幅広くキャッチするように努めていく。

② 今後の改善方策

・学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等での提言を踏まえ、業界の動向及びニーズを把握し将来構想に繋がるように努める。更に全国保育士養成協議会、全国幼稚園教員養成機関連合会の総会・理事会へ積極的に参加し業界の情報共有に努める。教員は最新の教育スキルを修得するため、各専門領域の学会等の研修に積極的に参加し養成機関・施設全体の向上に努める。

③ 特記事項

・本校の職員会議は、教員と事務職員が常に参加し開催されており、教職員の連携が強固である。

2 学校運営			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例	
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	3	2	1	学校運営方針及び事業計画 学生のしおり
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	3	2	1	学校運営方針及び事業計画、職員会議、教職員面談
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	3	2	1	学校運営方針及び事業計画、職員会議
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	3	2	1	年間行事計画
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	3	2	1	理事会・評議員会議事録、理事・評議員名簿、学園組織図、業務分掌規程
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	2	1	寄附行為、業務分掌規程 稟議書
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	3	2	1	業務分掌規程、法人HP (学園概要)
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	B	4	3	2	1	年間行事計画、職員会議 教員検討会議
2	3	5	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	C	4	3	2	1	理事会・評議員会議事録 事業報告書
2	3	6	教職員(組織の構成員)それぞれの職務分掌が文書化されているか	C	4	3	2	1	業務分掌規程
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	4	3	2	1	就業規則、専任教員・事務職員勤務時間及び研究日一覧、タイムカード
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	4	3	2	1	職員健康診断結果報告書、就業規則、特定健診結果データ
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	3	2	1	定期作業予定表、保守契約書
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	3	2	1	就業規則、採用試験評価表、レーザー人事管理
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	3	2	1	採用試験評価表、求人票、教員研修規程、教員研修実施要領

2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	2	1	授業評価アンケート、「学生による授業評価アンケート」結果による授業の振り返りと今後の指導について
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	3	2	1	業務分掌規程、校務分掌組織図
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	3	2	1	教員研修規程、研修受講報告書
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	4	3	2	1	教員研修規程、研修受講報告書
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	4	3	2	1	教員面接記録票
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	3	2	1	教員研修規程、研修受講報告書、全体研修報告書
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	4	3	2	1	教職員全体研修資料 職場研修報告書
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	3	2	1	非常勤講師打合せ、授業運営方針
2	4	42	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	C	4	3	2	1	表彰規程(永年勤続表彰・特別表彰)
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	就業規則、在宅勤務規程
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	給与規程、退職金規程、住宅手当支給規程、旅費規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	給与規程(定期昇給・特別昇給)
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	就業規則、採用試験評価表
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか (情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	4	3	2	1	専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」、一斉連絡用メールシステム「かんたんメール」

① 課題

・教職員の更なる能力向上に寄与する取り組みの推進を図る。

② 今後の改善方策

・理事会・評議員会の議事録の公開については、法令改正等で定められた場合に対応する。現状、各年度の事業報告書にて理事会及び評議員会の開催日及び議事内容については公開している。

③ 特記事項

・専任教員および事務職員対象の全体研修を年2回実施。
 ・FD委員会主催による教員の授業能力向上を目的とした研修会の実施。
 ・年度末に講師打ち合わせ会を開催し授業内容の改善等の協業体制を整備し専任教員と非常勤講師との情報交換を実施。

3 教育活動				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス例	
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育人人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)						
3	1	1	教育目的および育人人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(学校のプロフィール・学則・修学規程)、HP(教育理念)、学校案内
3	1	2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(学校のプロフィール・学則・修学規程)、HP(教育理念)、学校案内、文部科学省実地視察資料、業務分掌規程
3	1	3	教育目的および育人人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	3	2	1	学生のしおり(学校のプロフィール・学則・修学規程)、HP(教育理念)、学校案内
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育人人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(学校のプロフィール・学則・修学規程)、HP(教育理念・シラバス)、学校案内
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4	3	2	1	HP(シラバス)
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	3	2	1	HP(シラバス)
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	4	3	2	1	HP(シラバス)
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図っているか	C	4	3	2	1	HP(シラバス)、授業評価アンケート
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	4	3	2	1	授業評価アンケート、「学生による授業評価アンケート」結果による授業の振り返りと今後の指導について

3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	3	2	1	2023年度相互授業参観記録
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	4	3	2	1	「学生による授業評価アンケート」結果による授業の振り返りと今後の指導について
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立っているか	B	4	3	2	1	「学生による授業評価アンケート」結果による授業の振り返りと今後の指導について
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか(カリキュラム作成委員会等)	B	4	3	2	1	業務分掌規程、学生のしおり(学則・修学規程)
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	3	2	1	業務分掌規程、教育課程編成委員会議事録・報告書
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	3	2	1	業務分掌規程、教育課程編成委員会議事録・報告書
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	4	3	2	1	実地研究日程(予定)、HP(教育・保育実地研究)
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	3	2	1	業務分掌規程、学校関係者評価委員会議事録・報告書
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	B	4	3	2	1	実地研究日程(予定)、HP(教育・保育実地研究)
3	2	85	企業・地域・行政との連携を図っているか	C	4	3	2	1	業務分掌規程、学校関係者評価委員会議事録・報告書
3	2	86	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	C	4	3	2	1	指導大学意見書、教育課程編成委員会議事録・報告書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)、HP(シラバス)、文部科学省実地視察資料
3	3	2	学生や保証人に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)、HP(シラバス)、文部科学省実地視察資料
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)、HP(シラバス)、文部科学省実地視察資料、卒業判定会議資料
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録・報告書
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)						

3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	3	2	1	就職指導ガイドブック、チョットひとこと(社会人としてのマナー)、就職指導年間計画
3	5	2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	C	4	3	2	1	実習巡回指導記録票
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	3	2	1	仕事のまなび場
3	5	41	リメディアル(導入前教育・補習)教育を行っているか	C	4	3	2	1	入学前オリエンテーション

① 課題

- ・各科目の授業シラバスは作成されているものの、コマ・シラバスが作成されていない。
- ・教育課程について指導大学である横浜国立大学からご指導はいただいているものの、連携講座等は開設していない。
- ・キャリア形成への効果検証とその教育活動等への反映が十分でない。

② 今後の改善方策

- ・FD委員会との連携の下、教員間の相互授業参観等を企画し、体系的かつ継続的に実施する。
- ・今後、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会等を活用し、業界の動向やニーズを把握し、卒業生や就職先へのアンケート調査の実施を検討する。

③ 特記事項

- ・2023年度に、FD委員会主催のFD企画として3つのポリシーに関する検討会が実施された。
- ・2025年8月に神奈川県専修学校各種学校協会主催の高等学校・高等専修学校参加型職業体験プログラム「仕事のまなび場」において、保育分野を開講した。
- ・2026年2月に入学予定者を対象に、本校教員が保育に関する講座を実施するとともに、入学後の学修や学生生活に向けた心構えについて説明を行った。

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例			
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	3	2	1	専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	B	4	3	2	1	HP(シラバス)
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)						
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	4	3	2	1	教科目「就職指導」「教育・保育実践演習」、「保育実践演習」、就職指導ガイド

4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	4	3	2	1	2024年度学校運営方針及び事業計画、就職カード
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	3	2	1	学生対応簿、見学届・受験届、就職カード
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	B	4	3	2	1	学校案内、HP、年報
4	2	5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	C	4	3	2	1	年報、学校便り
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	1	職員会議議事録
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	3	2	1	年報、HP、学校案内
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	B	4	3	2	1	学校案内、HP
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	4	3	2	1	HP(卒業生の方へ【再就職斡旋事業】)、Googleフォームによるオンラインアンケート調査
4	4	2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	C	4	3	2	1	Googleフォームによるオンラインアンケート調査
4	4	3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	C	4	3	2	1	就職・進学資料、「インフォクリッパー」

① 課題

- ・継続的な卒業生の卒後の動向ならびに業績の把握。
- ・卒業生一人ひとりの就労先等に関する追跡調査の実施。

② 今後の改善方策

- ・オンラインによる卒業生の動向および業績に関するアンケート調査の回収率の向上。
- ・卒業年次生へ向けての卒後動向調査実施に関するインフォメーションの徹底。

③ 特記事項

- ・専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」から過去18年間にわたる卒業生の新卒時内定先を抽出し、実習巡回時に在職の有無を確認することを継続実施。

5 学生支援			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるようになっているか)		

5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	3	2	1	学籍簿、専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」(指導記録)、HP(学生サポート)、各種奨学金及び修学資金等に関する案内掲示
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人に周知されているか)	A	4	3	2	1	就職指導ガイドブック、学生のしおり
5	2	2	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか	C	4	3	2	1	
5	2	3	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	C	4	3	2	1	業務分掌規程、就職指導部会の記録
5	2	4	関連業界への就職率の向上は図られているか	C	4	3	2	1	就職・進学資料
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	4	3	2	1	担任等による面談記録
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	3	2	1	専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」(指導記録)
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	募集要項・学生のしおり、HP(学生サポート)
5	4	2	公的支援制度の利用について、学生・保証人に案内、情報提供しているか	C	4	3	2	1	募集要項・入学相談会での説明資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	4	3	2	1	健康診断実施計画書、年間行事計画、業務分掌規程(保健管理委員会の設置)
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	課外活動(部活動・同好会)の記録
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	4	3	2	1	HP、募集要項、入学説明会等での資料配布
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)						
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	4	3	2	1	専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」(指導記録)
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	3	2	1	2023年度学校運営方針及び事業計画
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	1	2023年度学校運営方針及び事業計画、職員会議資料
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	3	2	1	HP(職業実践専門課程基本情報・高等教育修学支援新制度に関する情報開示)

5	5	5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	C	4	3	2	1	専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」(指導記録)、カウンセリング報告書
5	6	中項目	保証人との連携(保証人との連携体制を構築しているか)						
5	6	1	保証人と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	3	2	1	保護者との電話対応記録、専門学校向け教務システム「インフォクリッパー」(指導記録)
5	6	2	保証人との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	3	2	1	学校HP、助手勤務新入生オリエンテーション案内
5	6	3	緊急時の保証人等との連絡体制を確保しているか	C	4	3	2	1	学籍簿
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	4	3	2	1	学校便り、同窓会便り
5	7	2	学校情報を卒業生に知らせているか(HP・学校便り等)	C	4	3	2	1	HP、学校便り、同窓会便り
5	7	3	学校は同窓会との連携を図っているか	C	4	3	2	1	学校便り、同窓会便り、学生のしおり(同窓会規約)
5	7	21	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	4	3	2	1	幼児安全法支援員養成講習、おもちゃインストラクター養成講座
5	7	22	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	C	4	3	2	1	学生のしおり(学則・修学規程)
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	3	2	1	学校案内、HP
5	7	42	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	C	4	3	2	1	学則

① 課題

- ・年間の行事やオリエンテーションにおいて保証人との相談や面談の機会を持っているものの、それを計画的に設定していない。
- ・卒業生への卒業教育等の支援が体制化されていない。
- ・クラス担任の業務量や担当学生数が多く、支援に使える時間や方法が限られている。

② 今後の改善方策

- ・各種学校行事やオリエンテーションがより良い保証人との面談機会となるよう内容や周知方法を検討していく。
- ・各種講座を、地域や卒業生に向けて広く周知していく。
- ・クラス編成や担任の業務内容、ホームルームの形態を見直す。

③ 特記事項

- ・入学前のオープンキャンパス、二部の新入生助手勤務オリエンテーション、なでしこ祭などの学校行事には、希望する保証人が多数来校の上、面談や相談の機会となっている。
- ・今年度も対面での同窓会総会及び懇親会を実施し、なでしこ祭でも同窓会の活動を紹介するブースを設営した。
- ・本校発行の「学校便り」を送付し、卒業生に対して情報提供等を行うとともに、なでしこ祭では再就職や転職の相談等を幅広く行っている。

・新カリキュラムへの移行に伴い、ホームルームの在り方や担任業務について検討や準備を行った。

6 教育環境				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス例	
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	4	3	2	1	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	3	2	1	資産目録、図書台帳
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	3	2	1	各種設備・教育備品の一覧表及び点検票、管理体制の組織図
6	1	4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	C	4	3	2	1	施設案内図、図書台帳
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	3	2	1	学生のしおり(修学規程)
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	3	2	1	教室清掃担当表、環境整備チェックシート
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	3	2	1	施設・設備の点検、補修計画書、点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書、電気設備定期点検報告書、建築物環境衛生管理報告書
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか)						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	3	2	1	実習の手引き
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	3	2	1	学生のしおり(修学規程)、実習の手引き
6	2	3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	C	4	3	2	1	実習の手引き、学生のしおり(修学規程)、学則
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	3	2	1	安全管理マニュアル、消防計画
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	4	3	2	1	消防用設備点検報告書、建物管理に関する契約書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	3	2	1	防災訓練実施記録簿
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	3	2	1	安全管理マニュアル、学校安全計画、特定建築物点検報告書

① 課題

- ・今後起こりうる諸災害に備えた本校の防災体制の更なる強化・備蓄品の充実を図り、学生・教職員の安全確保に努める。
- ・SNS等の普及により図書室を利用する学生が減少傾向にある。

② 今後の改善方策

- ・本校の保健安全委員会作成による「防災・防犯に関するマニュアル」の改定、避難訓練・防犯講習会の計画及び実施に努める。
- ・図書室の新規蔵書の見直しを図る。
- ・学生が自習室として図書室を利用する機会の啓蒙・促進を図る。

③ 特記事項

- ・本年度は、学生・教職員に対し、5月に避難訓練・11月に保土ヶ谷警察署の協力により、不審者対応の訓練を実施した。また、それに伴い5月と11月に安否確認テストメール配信を実施し集計結果をまとめた。

7 学生の受入れ募集			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)					
7	1	1	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 広報管理ソフト
7	1	2	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 HP
7	1	3	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 HP
7	1	4	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 HP、広報管理ソフト
7	1	21	A	4	3	2	1	広報管理ソフト
7	1	22	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 OC説明資料
7	1	23	B	4	3	2	1	入学前オリエンテーション
7	1	41	C	4	3	2	1	学生のしおり(修学規程)
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)					
7	2	1	A	4	3	2	1	学校案内、募集要項 HP
7	2	2	A	4	3	2	1	各入試採点票、入試判定 会議
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)					
7	3	1	A	4	3	2	1	募集要項、HP
7	3	2	A	4	3	2	1	募集要項、HP

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・2026年2月に入学予定者を対象に、本校教員が保育に関する講座を実施するとともに、入学後の学修や学生生活に向けた心構えについて説明を行った。

8 教育の内部質保証システム			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例	
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	4	3	2	1	指定保育士養成施設自己点検票
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	3	2	1	業務分掌規程、法人HP(学園概要)
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	3	2	1	神奈川県、文部科学省、厚生労働省等申請、届出書類
8	1	21	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	C	4	3	2	1	就業規則、ハラスメントに関する方針、セクシャル・パワーハラスメントの防止に関する規程
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	3	2	1	個人情報保護規程、特定個人情報保護規程、学校法人聖ヶ丘学園情報セキュリティポリシー
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	3	2	1	個人情報保護規程、特定個人情報保護規程等
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	3	2	1	学校法人聖ヶ丘学園情報セキュリティポリシー
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	3	2	1	業務分掌規程(自己評価委員会)、自己評価委員会規程、自己評価委員会及び自己評価の概要
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	4	3	2	1	自己点検・自己評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	3	2	1	自己評価委員会規程、業務分掌規程
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	3	2	1	学校関係者評価委員会規程、学校関係者評価委員会報告書及び措置状況
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	3	2	1	職員会議議事録、教職員面談
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	2	1	卒業生への課外講座の周知(HP)

8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	3	2	1	自己点検・自己評価報告書
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	2	1	自己点検・自己評価報告書
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	3	2	1	学校関係者評価委員会報告書の措置状況
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	2	1	学校関係者評価委員会報告書の措置状況
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	3	2	1	HP(情報公開)
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	4	3	2	1	HP(情報公開)
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	3	2	1	HP(情報公開)

① 課題

・顧問弁護士によるハラスメントに関する研修は2024年度に実施されたが、アカデミックハラスメントの防止に関する研修は実施されておらず、また、防止に関する規程も作成されていない。

② 今後の改善方策

- ・アカデミックハラスメント研修についてのご意見を受け、次年度に向けて、開催団体等を調査し、受講の検討を進めたい。
- ・本校で実施している講習会等について、卒業生への周知に努めたい。

③ 特記事項

・特になし。

9 財務			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	3	2	1	予算書、補正予算書、事業計画書、中長期計画
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	3	2	1	中長期計画、事業計画書、予算書、月次試算表
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	3	2	1	監事監査報告書、公認会計士監査報告書

9	3	2	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか	C	4	3	2	1	監査契約書、現金監査報告書
9	3	3	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか	C	4	3	2	1	監事監査報告書、公認会計士監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	3	2	1	情報公開規程、法人HP、財務諸表
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	4	3	2	1	法人HP

① 課題

- ・内部監査体制のルールが明確化されていない。

② 今後の改善方策

- ・監事及び公認会計士と相談し、独自の監査チェックリストの作成を検討する。

③ 特記事項

- ・特になし

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	3	2	1	年間行事計画、施設使用申込書
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	4	3	2	1	課外講座チラシ、HP
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	3	2	1	ボランティア活動募集チラシの掲示、ボランティア参加届
10	2	2	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか	C	4	3	2	1	施設使用申込書

① 課題

- ・地域住民も対象とした課外講座は、2023年度以降実施しているが、課外講座受講者に対する地域住民の受講者は割合が5%未満と低い。

② 今後の改善方策

- ・本校で実施している講習会等について、地域住民への周知に努めたい。

③ 特記事項

- ・特になし

11 国際交流(必要に応じて)				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受け入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)						

11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って 行っているか	A	4	3	2	1	評価対象外
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において 適切な手続き等がとられているか	A	4	3	2	1	評価対象外
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適 切な体制が整備されているか	A	4	3	2	1	評価対象外
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っ ているか	A	4	3	2	1	評価対象外
11	1	5	国際交流に取り組んでいるか	C	4	3	2	1	評価対象外
11	1	6	海外留学プログラムに対する支援を適切に行っ ているか	C	4	3	2	1	評価対象外

① 課題

- ・特になし。

② 今後の改善方策

- ・今後も留学生の受け入れを行う予定はない。

③ 特記事項

- ・留学生の受け入れを行っていないので評価対象外とした。

以上